



学校だより

かけ橋

パート III

横須賀市立汐入小学校 校長室

2014. 3. 20

No. 27

元気でやりぬく子
すすんで学ぶ子
思いやりのある子

6年間を振り返って

暖かな日和ながら、春の強風が吹く中、汐入小学校6年生14名が、卒業しました。今年の卒業のスローガンは、

「それぞれの 輝く未来へ はばたこう」

今年の6年生は、1年生の入学の時には、9名（内女子1名）で、市内でも話題になった学年でした。そんな学年も卒業の日を迎えました。保護者の方だけでなく、地域の方々も汐入小学校の存続に関わったことを思い、感慨も一入（ひとしお）かと思えます。

そんな6年間を先日、PTAの広報誌に寄せられたそれぞれの学年の担任の先生の言葉から振り返ってみましょう。（保護者の方は、すでに読まれていると思いますが、・・・）

1年・・・「9名の学級は、まるで一つの家族。

みんなが兄弟のようでした。」

2年・・・「パワーあふれ、やる気満々の可愛い2年生だったみなさん。生活科ではたくさんの生き物を教室に連れてきて、お世話をがんばりました。」

3年・・・「10人という人数は、フットワークが軽く、色々な所へ校外学習に出かけやすく、担任としてもわかってもらいたいことが、どんどん実証されていくのが痛快でした。」

4年・・・「とびっきり明るく元気な子どもたちという印象が残っています。特に、2分の1成人式を保護者のみなさんといっしょにできたことが心に残っています。」

5年・・・「学年最大の行事であるキャンプをパワーあふれるみなさんとともに作りあげたことが今でも色鮮やかに思い出されます。」

6年・・・「少々の失敗にはめげずに、いざというときには力を発揮するということが、そして下の子たちにとっても優しく接することが出来ることが君たちのよさです。」



将来の夢

毎年、卒業記念給食と称して、6年生と校長室と一緒に給食を食べます。食べながら、6年間で楽しかったことを聞きました。いろいろと出ましたが、修学旅行の夜の勉強会が楽しかったという子が2人もいたのには驚きでした。また、職業体験でやったことが楽しかったという子も2人もいました。

将来の夢も聞きました。同じことを言う子が無く、一人ひとりが人まねでなく、自分のこととして、しっかりと考えているのだなと感じられました。実際には、以下の通りです。

作家、医者、カメラマン・冒険家、管制官、プロサッカー選手、警察官、

シンガー、イラストレータ、パイロット、星専門の科学者、公務員、料理人、

ファッションデザイナー、音楽関係の仕事

卒業式では、卒業証書もらった後に、自分の将来の夢を宣言しました。その際、ただ、「〇〇になりたいです。」で終わらずに、「だから、英語を勉強したいです。」とか、「これから、〇〇をがんばりたいです。」とか、「〇〇になって、これこれをしてあげたいです。」など、これからのことや夢を実現させたあとのことまで考えて、言うことができました。とても素晴らしいことだと思います。

卒業式に出席しながら、10年後のこの子たちの姿を想像して、とても楽しみになりました。

卒業記念制作

平成22年に色を塗りなおしたニコニコ山に、今年度の6年生がイラストを描き加えて、リニューアルしました。

在校生から、書き加えたい絵を募り、その中から、「白鳥」と「四葉のクローバー」を実行委員が選びました。作業を進める中で、3年前に卒業した先輩方の思いや願いを引き継ぎながら、新たに自分たちの絵を加えることができました。卒業するにあたり、汐入小学校への感謝の気持ちを形としてあらわすことができました。

ペンキ塗りの間、コーンを置いて侵入禁止になっていましたが、完成して再び登れるようになり、みんなうれしそうに遊んでいました。

